



もっと遊びたい、もっと自由に・・・

子どもの遊ぶ権利のための IPA京都フォーラム



東京ラウンドの様子。20名を超す様々な分野の人たちが集まって、日本の子どもたちの遊びの阻害要因を考え、漫画で表現しました。

- 昨年5月に開催した「世界専門家会議 ● 東京ラウンド」では、子どもの遊ぶ権利を阻害する要因の解明を課題に、4コマ漫画の手法を使ったワークショップを開催しました。
- IPA本部は、東京を含む世界8都市で同時開催の世界専門家会議で検討された子どもの遊ぶ権利の阻害要因を整理し、国連子どもの権利委員会に提出するとともに、報告書をまとめ、この課題での行動方針を提起しています。
- IPA京都フォーラムでは、IPA本部の報告書(日本語訳)を資料に、「子どもの遊ぶ権利」に向けて私たちが取り組むべき課題と活動について、皆さんと一緒に探りたいと思います。

IPA世界専門家会議から考える

- 日 時： 2011年2月19日(土)
13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)
- 会 場： 同志社女子大学今出川キャンパス ジェームス館
(京都御所北側、最寄り地下鉄「今出川駅」or 京阪電鉄「出町柳駅」)
- 参加費： 1,000円、学生 500円 (資料代込み)
- 内 容： 世界専門家会議「東京ラウンド」の振り返り
IPA本部の報告書を読む
参加者の皆さんとともに探るワークショップ
2011年IPAウェールズ世界大会の案内
- 懇親会： 終了後、懇親会を予定しています (参加費:4,500円)



参加者が描いた阻害要因の漫画。受験競争や塾で忙しい子どもたち、ゲームの普及、遊びに対する無理解など多数の要因が挙げられました。

主催：IPA日本支部

*IPAは、International Play Association・Promoting the Child's Right of Play(子どもの遊ぶ権利のための国際協会)というNGOです。国連経済社会理事会の登録団体及びユネスコ・ユニセフの諮問団体であり、IPA日本支部には、子どもの遊びの実践従事者、教職員、学生・院生、研究者、父母等、約110名の会員が参加しています。

後援：OMEP(世界幼児教育機構)日本委員会、財団法人京都市ユースサービス協会、NPO法人国連NGO子どもの権利条約総合研究所、NPO法人日本冒険遊び場づくり協会、財団法人プレイスクール協会 (50音順)

申込みフォーム 以下の項目を明記してFaxもしくはメールで2月14日までにIPA日本支部事務局にお申し込みください。

氏名 _____ 所属 _____ (一般・学生・IPA会員)

〒 _____

住所 _____

Fax. _____ メールアドレス _____ @ _____

懇親会参加(○印) _____ します・しません